

リード文	各委員からいただいたご意見を踏まえて見直しています。
<p>水と緑に恵まれたこのまちに暮らす私たちは、彩り豊かな食生活と質の良い睡眠を心がけ、スポーツという言葉を超えたコミュニケーションに親しみ、楽しむことで、だれもが健康で活力に満ちた地域の実現をめざします。</p>	

フレーズ	前回のご議論をもとに以下のたたき台(事務局案)をお示します。
<p>スポーツにふれて 自分らしい楽しみや喜びを見つけよう 笑顔になって、健やかな心と体をつくろう 仲間とつながり、交流の輪をひろげよう</p>	

分類ごとの入れたいワード	
分類1 仲間・つながり	絆
分類2 未来・夢	豊かな心と体を育む
分類3 笑顔・笑い	笑顔あふれる 笑顔がみえる
分類4 楽しむ・親しむ	自分らしく楽しむ

※1 フレーズに用いた表現等についてご説明します。

- <共通するワード>
 “する・観る・支える・知る”スポーツを包括した表現として「スポーツにふれて」としています。
- <ひらがな表記>
 柔らかさを表現するため、フレーズ各文の最後の言葉をひらがな表記にしています。
- <分類4:楽しむ・親しむ>
 スポーツに親しみがない方にも興味をもっていただきたいという思いを込めて、「自分らしい楽しみや喜びを見つけよう」というフレーズにしています。
- <分類2:未来・夢> <分類3:笑顔・笑い>
 「豊かな心と体を育む」という表現が全世代になじまないと考え、「健やかな心と体をつくろう」としています。また、つながる表現を検討したところ、分類2と3を合わせることでより相応しい表現になると考え、「笑顔になって、健やかな心と体をつくろう」というフレーズにしています。
- <分類1:仲間・つながり>
 「絆」はすでに親しい関係があることが前提となる言葉とされます。スポーツをとおして初対面の方とも交流を深めていただきたいという思いを込めて、「つながり」や「交流の輪」という言葉で表現し、「仲間とつながり、交流の輪をひろげよう」というフレーズにしています。

※2 宣言文の表し方として、付番する場合、以下の2つのパターンが考えられます。

① 「1」を入れるパターン
スポーツにふれて
1 _____
1 _____
1 _____

② 昇番するパターン
スポーツにふれて
1 _____
2 _____
3 _____